

第80番札所 白牛山 千手院 国分寺

— 松の香りが漂う境内で、千年前の面影を探す —

本尊：千手観世音菩薩（秘仏）

所在地：香川県高松市国分寺町国分2065

TEL：087-874-0033

宿坊：なし



奈良時代の741年、聖武天皇の勅命により全国に建てられた国分寺のひとつです。四国にある国分寺は、徳島が第15番札所、高知が第29番札所、愛媛が第59番札所、そして香川は第80番札所と、それぞれが四国遍路の札所になっています。

まず、お寺の入り口で迎えてくれるのが、仁王門に沿うように生い茂る立派な枝ぶりの松。広い境内の中にも、青々としたたくさんの松の木が立ち、静寂感を生み出しています。その中に点在している、大きな石……、これは旧金堂（本堂）の柱を支えた礎石です。創建当時とほぼ同じ位置に残っていて、これらを元に堂宇を立てると、東西28m、南北14mもの大きさになるのだとか。現在の本堂は、鎌倉中期に再建された入母屋造りの建物で、前面と背面にはめられた棧唐戸が、禅的な美しさを引き出しています。

中には重要文化財の千手観世音菩薩が安置されていますが、普段は秘仏でご開帳は60年に一度とのことです。そこで現在お寺では、参拝者の祈りを直に受け止められる仏像を造立しています。それは弘法大師が平安初期に京都の東寺に造立した大日如来像を忠実に再現するもので、8頭の獅子が支える蓮華座に37尊を配した光背を備えた姿になるのだそうです。開眼は2018年度を予定しています。1200年の意匠をふまえつつ、生き生きとした新しい仏像に今を生き抜く力強いパワーをいただけそうです。

